



【新交響楽団創立60周年 1956-2016】

アマチュアオーケストラ

新交響楽団第234回演奏会

The New Symphony Orchestra - 234th Concert

指揮 **矢崎 彦太郎**

YAZAKI Hikotaro, conductor

デュカス バレエ音楽「ラ・ペリ」

Paul DUKAS (1865-1935): Ballet Music "La Péri", Poème dansé en un tableau, 1912

三善 晃 管弦楽のための協奏曲

MIYOSHI Akira (1933-2013): Concerto pour orchestre, 1964

ベルリオーズ 幻想交響曲

Hector BERLIOZ (1803-1869): Symphonie fantastique, 1830

助成： 芸術文化振興基金

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2016年7月10日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, July 10, 2016, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,500 B席: ¥1,500 (全席指定)

88ペアチケット (お二人様で合計88歳以上のお客様は合計金額から1,000円を割引させていただきます。下記コンサートイメージのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイメージ03 (3235) 3777 *10:00~18:00 (日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み: チケットぴあ: 0570 (02) 9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス: 0570 (010) 296 *10:00~19:00 (休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www/geigeki/i/t/> *0570で始まる電話番号は一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください (予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyō.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

創立60周年シリーズ第3弾

新交響楽団は、創立以来アマチュアオーケストラとしての可能性を追求し活動をしてきました。2013年からはパリを拠点に活躍する矢崎彦太郎を指揮に迎え、フランス音楽にも積極的に取り組んでおります。矢崎との4回目の共演となる今回は、フランス交響曲の金字塔ともいえるベルリオズの幻想交響曲に挑みます。

近代管弦楽法の父ベルリオズ

幻想交響曲が作曲されたのは1830年、ベートーヴェンの第九交響曲とほぼ同時期、ブラームスはまだ生まれてもいない時です。交響曲が絶対音楽であった時代に各楽章に標題がついた物語になっていること、それまで使われたことのないコール・アンブレやE♭クラリネットなどの特殊楽器を含み、ハープ2台、ティンパニ奏者2人(一部は4人!)という大編成で、当時は極めて斬新な作品だったのです。ドイツやロシアの大作曲家たちにも多大な影響を与えました。200年近く前の最先端の曲ですが、ドラマチックでわかりやすく、あまりクラシックに馴染みのない方でも楽しめる曲です。

ベルリオズは開業医の息子で医学部に進学しましたが、解剖学で挫折して音楽の道へ進みます。23歳の時にシェイクスピア劇団の主演女優に片思いし、その体験を基に書かれたのが幻想交響曲です。作曲者自身の解説を要約すると「病的な感受性と激しい想像力を持った若い芸術家が、恋の悩みから絶望して阿片自殺を図るが、服用量が少なすぎて死に至らず、奇妙な一連の幻想を見る」とあり、失恋して恋人を殺し死刑になり自分の葬式に悪魔や魔女が踊る、でもそれは夢の中というお話なのですが、その後ピアニストと恋をし、婚約したのに別の男と結婚されて、相手を殺して自分も自殺しようとして企てますが未遂に終わります。この感受性と情熱が名曲を生んだのでしょう。

日本の正統派作曲家 三善 晃

三善は高校生の頃に作曲を志し、東京大学仏文科在学中にフランスに渡りパリ音楽院で作曲を学びました。その後は数々の賞を受賞し積極的な創作活動を行う一方、桐朋学園では長く学長を務めるなど教育者としても活躍しました。多くの合唱曲を残し管弦楽作品が吹奏楽に編曲されるなど、作品は広い分野で親しまれています。

今回演奏する「管弦楽のための協奏曲」の総譜には、自身の言葉で「この作品までは、内的な秩序に手がかりを得ていた音の追及を、はじめて、外的存在としての音と内的秩序の接点に求めてみたものです。」とあり、シェーンベルクの影響をうかがわせる意欲作です、

10年前の新響創立50周年で指揮の故小松一彦氏と「交響三章」を演奏しましたが、次は「管弦楽のための協奏曲」という約束をようやく果たせます。精緻で端正な三善作品は、ある意味難解な現代音楽かもしれませんが、カッコよくて美しい、曲の持つエネルギーを楽しんでいただければと思います。

どうぞお楽しみに!(H.O.)

今後の演奏会予定

<第235回演奏会>~創立60周年シリーズ4~

2016年11月3日(木祝)14時 東京芸術劇場

指揮 山下一史

曲目 伊福部 昭/シンフォニア・タブカーラ

ブラームス/交響曲第1番 他

<第236回演奏会>

2017年1月29日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎彦太郎

<第237回演奏会>

2017年4月23日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 寺岡 清高

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、シヨスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(故山田一雄指揮、1979~90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(故石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、託児施設だっころームをご利用いただけます。利用日の1営業日前正午までにご予約ください。~1歳2,560円、2歳~6歳児2,160円。お申込み・お問合せ:小学館集英社プロダクション03-3981-7003(平日10:00~17:00、土・日・祝日休み)